

4. 資 料  
(1) 調査票

# 東京消防庁

## 令和3年消防に関する世論調査票

皆様のより安全で安心な暮らしのために、本世論調査の結果を今後の消防行政運営に反映させていきます。是非、あなたのご意見をお聞かせください。

※ 調査にご協力いただいた方には全員に、後日、謝礼（QUOカード500円分）をお送りします。

～ 記入上の注意事項 ～

- 1 回答は調査票のあてはまる回答欄に☑又は番号に直接○印をつけてください。（質問は21問、所要時間は20分程度※です。）
- 2 質問によって、1つだけ選択していただくものや、複数選択していただくものがあります。質問文中の説明に沿って回答してください。
- 3 「その他」を選ばれた場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 ご多忙中大変恐縮ですが、9月29日（水）までにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

※所要時間には個人差があります。

※ 本調査票は、郵送回答の他、インターネット回答も可能です。  
インターネット回答の場合は、下記アドレスへアクセスしてください。

◆ パソコンからの回答はこちらから

<https://research-ceng.com/index.php/658247?lang=ja>

◆ スマートフォンからの回答は右記QRコードを読み取ってください。

なお、受付画面に下記のIDとパスワードを入力後、回答してください。



スマホ用QR

ID	
----	--

パスワード	
-------	--

インターネット回答につきましても、9月29日（水）までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

【問合せ先】 設問・回答方法などに関するご質問は、下記までお願いいたします。  
東京消防庁 企画調整部 広報課 都民の声係（担当：赤松）  
電話：03-3212-2111 内線 2325 FAX：03-3212-1027



ご協力いただきありがとうございます。  
質問数は21問です。(所要時間 20分程度)  
ご回答のほどよろしくお願いいたします！

## I 地震に関すること

大地震発生時の行動や備えについてお聞きします。

Q1 あなたが家にいる時、東京都に非常に大きな地震が発生することを知らせる緊急地震速報がテレビやスマートフォンから流れました。あなたは、まず何をしますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 テーブルの下に身を寄せるなど、身の安全を図る
- 2 火の元を確認する
- 3 戸や窓を開け避難路を確保する
- 4 外に出る
- 5 そのままの状態様子を見る
- 6 その他（具体的に )

家庭での地震に対する備えについてお尋ねします。

Q2 あなたの家での、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の実施状況を、次の中から1つだけ選んでください。

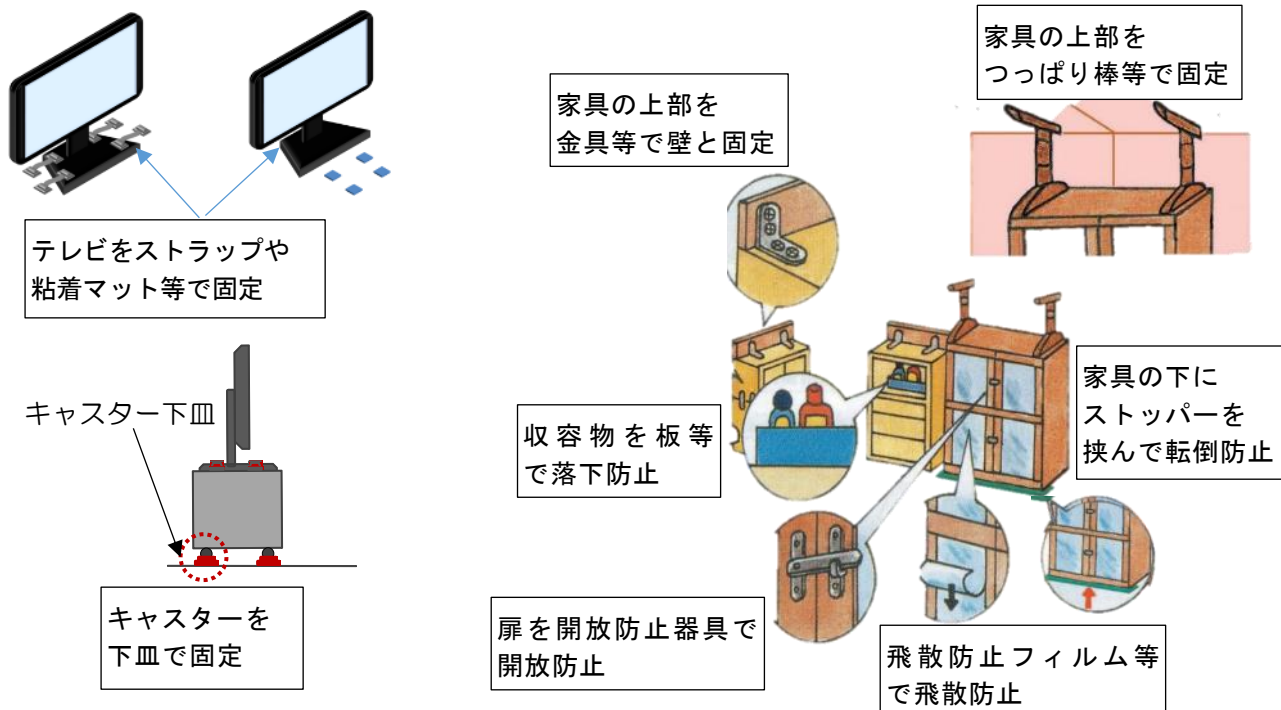
- 1 すべての家具類に実施している (→Q4へ)
- 2 一部の家具類に実施している (→Q3へ)
- 3 倒れる可能性のある家具類がない又は家具を置いていない (→Q4へ)
- 4 実施していない (→Q3へ)

参考

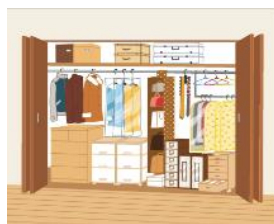
近年、日本で発生した大きな地震では、家具類が転倒、移動、落下したことにより、多くの方が負傷しています。

【図】

①「家具類の転倒・落下・移動防止対策」例



②「倒れる可能性のある家具類がない」例



クローゼットへの集中収納

Q3 Q2で2又は4を選んだ方にお聞きします。家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施していない又は一部にしか実施していない理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 面倒である
- 2 地震で家具が倒れるとは思わない
- 3 地震で家具が倒れたとしても危険と思わない
- 4 器具を売っている場所がわからない
- 5 器具が高価である
- 6 対策方法がわからない
- 7 建物の壁に取り付けられる場所がない
- 8 壁や家具にキズを付けたくない
- 9 建物が免震又は制振構造である
- 10 その他（具体的に )

## II 救急に関すること

今までに、救急車を呼んだ（119番通報した）ことがある方にお聞きします。救急車を呼んだことがない方は回答せず、Q5へ進んでください。

Q4 あなたが救急車を呼んだ理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 生命の危険があったと思った
- 2 軽症や重症の判断がつかなかった
- 3 自力で歩ける状態でなかった
- 4 交通手段がなかった
- 5 病院へ連れて行ってくれる人がいなかった、または連れて行けなかった
- 6 どの病院に行けばよいかわからなかった（夜間・休日を含む）
- 7 救急車で病院に行った方が優先的に診てくれると思った
- 8 家族や知人、居合わせた人に薦められた
- 9 「#7119」を利用したときに救急車を呼ぶことを案内された
- 10 その他（具体的に )

※ 回答番号10は、救急車を呼んだ理由が番号1～9に該当しない場合に選択してください。

## 「#7119」について

Q5 「病院へ行くか、救急車を呼ぶか」迷った時に電話やインターネットから相談できる「#7119※」を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている
- 2 知らない

\* 「#7119」とは、電話で症状の緊急性について相談できる「東京消防庁救急相談センター」とインターネットや冊子により自身で症状の緊急性や受診科目などを確認できる「東京版救急受診ガイド」を総称したものです。



応急手当についてお聞きします。

Q6 都民の方を対象に様々な応急手当を学ぶ救命講習が行われています。あなたが受けたことのある講習を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 応急救護講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の短時間の講習）
- 2 救命入門コース（小学校中・高学年等を対象とした講習）
- 3 普通救命講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の3時間程度の講習）
- 4 上級救命講習（3の講習内容に外傷応急手当等を加えた8時間程度の講習）
- 5 応急手当普及員講習（普通救命講習等の指導要領を学ぶ講習）
- 6 受けたことがない（Q7へ）
- 7 その他（具体的に

）  
(6以外を選んだ方はQ8へ)

Q7 Q6で6を選んだ方にお聞きします。救命講習を受けない理由を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 講習を受ける時間がない
- 2 講習に行くのが面倒
- 3 講習を受ける必要性がない
- 4 講習を受けなくても、応急手当ができる
- 5 講習をやっていることを知らなかった
- 6 新型コロナウイルス感染拡大により講習が実施されなかったため
- 7 新型コロナウイルス感染の恐れがあったため
- 8 その他（具体的に

Q8 あなたの周りの人が急病やけがで心肺停止となり、応急手当が必要となった時、あなたは胸骨圧迫（心臓マッサージ）、人工呼吸、AED（自動体外式除細動器）のいずれかができますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 応急手当の方法を知っているから、実施できる (→Q10へ)
- 2 応急手当の方法を知っているが、実施できない (→Q9へ)
- 3 応急手当の方法を知らないので、実施できない (→Q10へ)

Q9 Q8で2を選んだ方にお聞きします。あなたが、応急手当を出来ない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 かえって悪化させることが心配だから
- 2 誤った応急手当をしたら責任を問われそうだから
- 3 感染などが心配だから
- 4 怖いから
- 5 自信がないから
- 6 その他（具体的に )

### Ⅲ 防災に関すること

防火防災訓練などについてお聞きします。

Q10 あなたが最近1年間で参加したことがある防火防災訓練や東京消防庁主催のイベントなどがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消火訓練
- 2 応急救護訓練（AEDの取扱い、心臓マッサージなど）
- 3 避難訓練
- 4 救出・救助訓練
- 5 水災に関する訓練
- 6 地震の揺れから身を守る訓練（起震車による地震体験など）
- 7 VR防災体験車による災害疑似体験
- 8 インターネットや動画を活用したリモート防災学習
- 9 防災講演会、座談会、シンポジウムなど
- 10 その他（具体的に )
- 11 どれも体験・参加したことがない (→Q11へ)  
(11以外を選んだ方はQ12へ)

Q11 Q10で11を選んだ方にお聞きします。参加したことがない最も大きな理由を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 過去に参加したことがある訓練と同じような内容だから
- 2 一緒に参加する人がいないから
- 3 訓練に関心がないから
- 4 休養したいから
- 5 訓練の時間帯が合わないから
- 6 訓練のあることを知らなかったから
- 7 新型コロナウイルス感染拡大により訓練が実施されなかったため
- 8 新型コロナウイルス感染の恐れがあったため
- 9 その他（具体的に )

Q12 あなたが知っているものを次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消火器の使い方
- 2 スタンドパイプの使い方
- 3 119番通報のしかた
- 4 火災による煙が発生した際の避難のしかた
- 5 いずれも知らない

## IV 消防団に関すること

消防団<sup>※</sup>についてお聞きします。

Q13 消防団を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている (→Q14へ)
- 2 名前は聞いたことがある (→Q14へ)
- 3 知らない (→Q17へ)



※ 消防団は様々な仕事につきながら「わが街を守る」という使命感のもと、自営業や会社員、主婦や学生などで組織されている消防機関です。

Q14 Q13で1又は2を選んだ方にお聞きします。地域の安全・安心を守るため、あなたは消防団に入団したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 入団したい (→Q15へ)
- 2 条件が合えば入団してもよい (→Q15へ)
- 3 入団したいと思わない (→Q17へ)



Q15 Q14で1又は2を選んだ方にお聞きします。あなたが入団を検討したら、消防団について必要な情報は何か。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 活動内容の詳細
- 2 活動の頻度
- 3 活動時間の長さ
- 4 実際に活動している人の声
- 5 報酬及び手当等の詳細
- 6 入団方法
- 7 受講できる講座や研修内容
- 8 その他（具体的に )

Q16 次の内容は、消防団の待遇についてです。あなたが知っていることを、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 年額報酬が支払われる
- 2 災害や警戒で出場した場合は、手当が支払われる
- 3 功労に応じて表彰制度がある
- 4 消防団活動でけがなどした場合は、補償制度がある
- 5 消防団の活動服や制服が支給される
- 6 特別職の地方公務員である
- 7 全て知らない

## V 火災予防に関すること

住宅用火災警報器<sup>※1</sup>についてお聞きします。

Q17 お住まいの住宅用火災警報器の設置状況<sup>※2</sup>を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 全てに設置している
- 2 一部にしか設置していない
- 3 自動火災報知設備又はスプリンクラー設備が設置されているため、住宅用火災警報器は設置していない (→Q20へ)
- 4 全く設置していない (→Q20へ)

※1 住宅用火災警報器とは、煙や熱を感知すると警報音や音声を発して火災を知らせる機器です。火災の感知だけでなく、ガス漏れも感知する複合タイプもあります。(法令に基づきマンションなどに設置されている自動火災報知設備や単独のガス漏れ警報器とは異なります。)



※2 住宅用火災警報器は、全ての居室(居間、ダイニング、子供室、寝室など)、台所、階段に設置が義務付けられています。

Q18 あなたはこれまでお住まいの住宅用火災警報器の作動確認<sup>※</sup>を実施したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 設置から10年以上経過している。作動確認をしたことがある。
- 2 設置から10年以上経過している。作動確認をしたことがない。
- 3 設置から10年は経過していない。作動確認をしたことがある。
- 4 設置から10年は経過していない。作動確認をしたことがない。
- 5 設置した時期は分からない。作動確認をしたことがある。
- 6 設置した時期は分からない。作動確認をしたことがない。

※ 作動確認とは、住宅用火災警報器の本体に付いているボタンを押したり、ひもを引くことによって、住宅用火災警報器が正常に作動しているかを確認することを言います。

Q19 住宅用火災警報器の本体交換の実施状況について、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 実施している
- 2 実施していない

Q20 住宅用火災警報器の本体交換や定期的な点検※について知っていますか。当てはまるものを1つだけ選んでください。

- 1 設置から10年以上経過した場合、本体交換が推奨されていることを知っている
- 2 定期的な点検が必要なことを知っている
- 3 どちらも知っている
- 4 どちらも知らない

※ 住宅用火災警報器は設置から10年が経過している場合は本体交換を推奨しています。また、正常に作動しているか定期的な点検をすることも大切です。



続いて、消防行政への要望について教えてください。

## VI 消防行政に対する要望

Q21 東京消防庁に特に力を入れてほしいと思う取組を、下記AからDの分野について、それぞれいくつでも選んでください。

### A 火災などの災害に関する取組

- 1 日常における火災、救助への対応
- 2 大地震などによる大規模災害時への対応
- 3 台風、集中豪雨などによる水害・土砂災害への対応
- 4 放射性物質、生物剤、危険物及び毒劇物などの特殊な災害への対応
- 5 消防団の災害対応
- 6 都外及び国外への災害活動支援
- 7 その他（具体的に )

### B 救急業務に関する取組

- 1 救急隊の現場活動
- 2 応急手当（AEDの使い方など）の普及活動
- 3 救急相談センター（#7119）のサービス内容
- 4 その他（具体的に )

### C 都民のみなさまの防災行動力向上に関する取組

- 1 地域における防火防災知識に関する普及啓発活動
- 2 地域における防火防災訓練指導
- 3 学生や児童への防火防災に関する普及啓発活動
- 4 高齢者や身体障害者など要配慮者への防火防災に関する普及啓発活動
- 5 消防博物館や防災館などの防火防災に関する施設の充実
- 6 その他（具体的に )

### D 火災予防に関する取組

- 1 事業所（共同住宅の共用部分を含む）への防火防災指導
- 2 不特定多数の人が集まる施設への防火防災に関する規制
- 3 火災発生時の危険性が高い施設の公表
- 4 防火上優良であると認定された建物の表示
- 5 暮らしの中の火災事例に関する情報提供
- 6 その他（具体的に )



ご回答ありがとうございました。  
最後になりますが、統計に必要な情報を教えてください！

### <フェイスシート>

ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、お答えを統計的に分析するために必要なことを伺わせてください。

**お住まいの地域** ( ) 区・市・町・村)

**性別** 1 男性 2 女性

**年齢** 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代  
5 50代 6 60代 7 70代 8 80代以上

**ご職業** 1 自営業主 2 家族従業(家業手伝い)  
3 勤め(フルタイム) 4 勤め(パートタイム)  
5 主婦・主夫 6 学生  
7 その他の無職  
8 その他(具体的に )

**家族構成** あなたご自身、もしくは同居している方の中に、次にあてはまる方がいらっしゃれば、すべて選んでください。

1 6歳以下の乳幼児 2 65歳以上の方  
3 病気などで寝たきりの方 4 身体の不自由な方  
5 いずれもない

**住居形態** あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。

1 一戸建て  
2 マンション・アパート(何階にお住まいですか→ 階)  
3 社宅・公務員住宅・寮・寄宿舍など(何階にお住まいですか→ 階)

**建物構造** あなたのお住まいの構造は、次の中のどれにあたりますか。

1 耐火造(鉄骨造、コンクリート造など)  
2 耐火造以外

**所有区分** あなたのお住まいの所有区分は、次の中のどれにあたりますか。

1 持家(家族所有含む)  
2 賃貸

**消防との関わり** 消防と関わった経験について、次にあてはまる内容があればすべて選んでください。

- 1 救急車を呼ぶため119番通報をしたことがある
- 2 火災など、災害で119番通報をしたことがある
- 3 仕事で消防署に行ったことがある（届出、申請、相談など）
- 4 訓練や講習、イベントで消防署に行ったことがある
- 5 消防署に郵送やメールを活用して相談や手続きを行ったことがある
- 6 東京消防庁のホームページや公式アプリを活用したことがある
- 7 特に関わりはない
- 8 その他（具体的に \_\_\_\_\_）

東京消防庁に関するご意見やご提案がございましたら、ご自由にお書きください。

以上で調査は終了です。  
ご協力いただきまして本当にありがとうございました！



東京消防庁についてさらに詳しく知りたい方はこちらへ！

- 東京消防庁ホームページ ⇒ <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>
- 東京消防庁公式アプリ ⇒ ダウンロードは下記QRコードで

緊急時にも役に立つ  
**東京消防庁公式アプリ**

コンテンツがいっぱい!!

救急サポート

ミニゲーム

FAQ

緊急連絡

消防イベント情報

スタンプラリー

消防マップ

東京消防庁公式アプリ 無料

ダウンロードはコチラ! 東京消防庁公式アプリ 検索



QRコード



### (3) 東京消防庁に関するご意見やご提案

東京消防庁に関するご意見やご提案を任意に記入していただいたところ、多数のご意見が寄せられたので、以下のカテゴリーに分類した。

- 「日頃の活動についての感謝や励ましについて」
- 「広報活動・情報提供・知りたいことなどについて」
- 「調査に協力して初めて気づいたこと、改めて感じたこと」
- 「救急車の利用について」
- 「その他の要望など」
- 「調査内容、方法に関する意見」
- 「その他」

#### ■日頃の活動についての感謝や励ましについて

- ・ いつも守っていて下さりありがとうございます。安心して生活できています。(30代 男性)
- ・ たいへんな職業だと思いますが、がんばって下さい。(50代 男性)
- ・ 父親の具合がわるくなり119番通報をした事がある。とても親切な対応(救急車の方々)で助かりました。(30代 男性)
- ・ いつもありがとうございます。この機会に耐震対策をしようと思います。(30代 女性)
- ・ いろいろな災害や病気等に備えていつも頑張ってお下さっていて、本当に有難いと思っております。これからも宜しくお願い致します。(60代 女性)
- ・ いつもありがとうございます。(各年代より複数件記入)
- ・ いつも都民のために働き、お疲れ様です。 これからも頑張ってください。(50代 男性)
- ・ いつも都民を守っていただいて、ありがとうございます。(50代 女性)
- ・ 生前父が荒川区で消防団の分団長として、寄与していました。その姿を近くで見ているので、地域のために、活躍している事を実感しました。これからは災害対応等の向上に取り組んで欲しい。(60代 男性)
- ・ 新型コロナが広がる中、救急隊員の方々の活躍に感謝します。(70代 男性)
- ・ 近くに消防署があるので、気持ち的に安心です。今後も地域の安全の為、よろしくお願い致します。(40代 女性)
- ・ いつも感謝しています。(自分で救急車を呼んだ事はありませんが病人に付き添って同乗した事がありますので、対応を見て知っています)(70代 男性)
- ・ 調査の実施ありがとうございます。もっと意識を高めて勉強や訓練に参加しないとイケないと思いました。今後ともよろしくお祈りします。(40代 男性)
- ・ コロナ患者を受け入れる病院がなく何十件もTelしているのを聞いています。救急隊の方には感謝しています。どうぞお身体ご自愛下さいませように。(50代 女性)
- ・ これまで2回、救急車を呼ばせていただきました。隊員の方には真摯に、誠実な対応をしていただき、本当に感謝しました。やさしい声かけと励ましが何より有難いので、もし次が有ったら、またお願いします。(50代 女性)
- ・ 救急車を呼んだ時に、素早い、正確な対応をして頂き大変大変感謝しております。ありがとうございました。(40代 女性)



- ・ 消防庁の方々には日々ご苦労様とっております。消防署の前を通ると訓練等している姿を見ていると安心です。大地震等いざという時に頼りになると思っています（頼り切ってばかりはいられませんが…）（60代 女性）
- ・ いつも都民の安全の為に有難うございます。90才近い父が急に具合が悪くなった時、救急車を使わせて頂きました。隊員の方々の落ち着いた対応で、家族がどれだけ安心出来たか、言い尽くせる言葉がありません。有難うございました。（50代 女性）
- ・ 大変な事と思いますが頑張ってください。（50代 女性）
- ・ 7年前位に家族が熱中症になった時、母がどうしたら良いかわからず、とりあえず119番に電話をし症状を伝えたところ、すぐに救急車をよこしてもらいました。脱水症状がひどく、1泊2日の入院となりましたが、もう少しで腎臓障害をおこすところだったようでとても母は感謝していました。今回#7119を知りアンケートに協力できて良かったです。現在コロナでとてもたいへんだと思いますが、ありがとうございます。（20代 女性）
- ・ 消防の方々、いざという時に対応していただけるととても頼もしい存在に感じています。おかげさまで、安心して生活ができます。これからも、よろしくお願いします。（50代 男性）
- ・ 日々大変なお仕事だと思っています。地域にそれぞれあるといいなと思います。分団の人の役割やどんな人がしているのか知るともっと身近に感じるのではないかと思います。（50代 女性）
- ・ 日頃わたくし達都民を守って下さり誠にありがとうございます。今年初旬に義母が家の中で倒れており、救急隊の皆様は助けて頂きました。不安の中、救急隊の皆様の迅速な対応で自分のやるべき事も落ち着いてでき心から感謝でございます。当時バタバタとしていたとはいえ、きちんと御礼を申し上げられなかった事が心残りです。焦っていたのでどちらの消防署の隊員の方々かを確認するのを忘れてしまいました。もし御名刺等をお持ちでしたら救急車の中で頂戴できたらありがたいと思いましたが遅くなりましたが本当にありがとうございました。（50代 女性）
- ・ 地域の安全を守っていただきありがとうございます。（20代 女性）
- ・ 訓練をしている姿を見かけたことがあります。キビキビとされていて、体力づくりもされてすごなお仕事だと思います。（表現力がなさすぎてごめんなさい）お体に気をつけてこれからも任務頑張ってください。（40代 女性）
- ・ 子どもが救急医療を必要とした際に、大変親切にご対応していただき深く感謝しております。これからも地域の安全のためにご活躍いただけましたら安心して過ごすことができます。くれぐれもご自愛し、益々のご活躍をお祈り申し上げます。（40代 女性）
- ・ 年中無休24時間対応して頂けるので大変ありがたいと思っています。（60代 男性）
- ・ イベントでいただいた保険証などを入れるケースが、とても役に立っています。#7119が載っているのも、もしもの時に利用しようと思います。いつも、ありがとうございます。（40代 女性）
- ・ コロナ禍で大変な毎日だと思います。激務で皆様の健康が心配です。とはいえ、皆さんは、命をつなぐ最後の希望でもあります。助けに来て下さったとき、どれだけ安心するか…。本当に感謝しかありません。だからこそ、自助できるものは知識を得て、余計な負担をかけないことが必要ですね。訓練などは気軽に参加できるよう告知については自治体の力を借りてもう少し力を入れて頂ければと思います。これからもよろしくお願いします！（50代 女性）
- ・ 子供の熱性けいれんの為、4回ほど救急車を呼んだ事があります。感謝しかありません。（40代 女性）

- 私たちの安全のために日々働いていて、とても尊敬しています。蘇生法の講習を多くしてほしい。(学校でやる)(20代 男性)
- これからも期待します!!(50代 女性)
- いつもお勤めご苦労様です。不要不急での救急車の利用は有料化してもいいと思います。タクシー代わりに使っている人がいると聞いたことがあります。(30代 女性)
- 困ったときにすぐ来てくれると思うだけで、安心して生活ができており、とても感謝しています。あれこれ手広く事業を展開するよりも、消防署にしかできないことを確実にやっていただくことを望みます。(40代 女性)
- いつも暮らしの安全や安心を守る活動をして下さりありがとうございます。(20代 男性)
- いつもありがとうございます。なるべくお世話にならないよう用心します。(50代 男性)
- 子供(幼児)が、消防車、救急車が大好きです。消防署の方にはいつも優しく対応していただいています。いつもありがとうございます。(40代 女性)
- いつも消火、救急搬送、訓練指導、災害派遣などの御対応、ありがとうございます。(30代 男性)
- いつも災害時など危険を伴う業務に従事していただき、感謝申し上げます。(30代 女性)
- 危険を顧みない姿に尊敬、感謝しております。これからも宜しく願いいたします。(50代 男性)
- いつもご苦労様です。大変なお仕事だと思いますが、これからも宜しく願い致します。(50代 女性)
- 地震、豪雨等の自然災害やコロナ感染症等、予測不能な状況が増えています。消防、救急隊員の皆様には、本当にいつも感謝しております。火災は人が起こす事が多いので普段からいつも気をつけて生活したいと思います。これからもよろしく願いします。(50代 女性)
- 近くに消防署があるので消防車の出動が思っている以上に頻繁にあるんだなぁと驚きました。毎日街を守って下さりありがとうございます。(30代 女性)
- 今後も頑張って下さい。(20代 男性)
- コロナ禍で大変かと思いますが、いつもありがとうございます。(20代 女性)
- いつもお世話になっております。日本の救急・消防の業務にたずさわられる方は、欧米諸国の同種と異なり、薄給と聞いております。こんなに素晴らしい仕事ぶりなのに…。改革が必要ですね。(50代 女性)
- 職務上大変お世話になっております。八月に参加した上級救命講習でもお世話になり、勤務する中学校生徒の救急搬送でもお世話になります。また先月はAEDもかしていただきました。(勤務校教員に指導するため)誠実に対応していただき感謝しております。今後共よろしく願いします。(50代 女性)
- 家族の緊急時に救急の電話をしたことが何度かあります。心臓マッサージのやり方を教えてもらい、救急隊の到着までやっていました。ありがとうございました。そういった場合に直面しないとやらなかったことですし、緊急時に備えて消火器の使い方などがまとまったものが、区報などと一緒に配布されると心強いです。最初の心臓マッサージもそうですが、消防や救急の人頼みになってはいますが、自分たちがまずやれることを知らない人が多いと思うので、よろしく願いします。(50代 女性)
- 昼夜問わず、都民のためにお疲れ様です。これからもがんばって下さい。(30代 女性)
- コロナ禍における救急活動等ご苦労様です。自然災害を含め、今後も宜しく願いします。(60代 男性)

- ・ 日々お疲れ様です。救急車が早く病院に行けると良いですね。(40代 女性)
- ・ いつも感謝しています。大変な仕事ですが、特にコロナ禍でご苦労されていると思います。大事な仕事だと思っています。(70代 女性)
- ・ 生活の安全の為に、働いてくれるたくさんの消防の方々の並々ならぬ努力と愛情に感謝しています。(30代 女性)
- ・ 安全安心のために毎日ありがとうございます！(30代 女性)
- ・ 日頃のご活動に感謝申し上げます。(40代 男性)
- ・ コロナ禍での一日の出動の大変さ、水難救助、ヘリコプターからの消火活動、お疲れ様です。(50代 女性)
- ・ ご意見やご提案は特にありませんが、消防署から家が近い為よくトレーニングなどしている姿を拝見します。これからも江戸川区の為に頑張ってください。(20代 女性)
- ・ いつもありがとうございます。お忙しい中おつかれ様です。これからも危険な仕事が多いでしょうが、がんばってください。(30代 女性)
- ・ 東京 MER をテレビの中だけでなく、本当に作ってほしいと思ってます。都内では、ヘリなどの搬送も厳しく、道路状況などなど、現実的には無理難題が、多くありますが…コロナ禍の中、皆様のご尽力には、頭が下がります。又、自然災害も、年々、多くなり大変ですが、私共都民の為に日夜努力を重ねてられる姿には感謝しています。(50代 女性)
- ・ 消防署の方々がいらっしゃるお陰で普段安心して暮らせてます。コロナで救急車の出動回数も多く、とても大変かと思います。消防署の方々には感謝しかありません。(50代 女性)
- ・ いつも私達都民の安全を守っていただきありがとうございます！！(50代 女性)
- ・ 以前 119 番をしたときに、すぐ来て頂いて助かりました。ありがとうございました。東京一極集中は危険だと思うのですが、どうにもならないのでしょうか。(30代 男性)
- ・ これからも出動回数が増えないようにしていきます。(40代 男性)
- ・ いつも地域や街の為に消防庁の方々や消防団の方々にはお世話になっています。私達の安全をいつも考えてがんばってくれていることに感謝しています。私もせっかく学校で AED の取り扱いや、心臓マッサージを習ったので、それがいつでも活かせるようにもう 1 度復習して、必要な時は助けてあげられるようにもう 1 度勉強します。(10代 女性)
- ・ 家族がてんかんの意識消失発作で救急車を呼び、お世話になりました。不安な思いでいる中、救急隊の方々の心優しく的確な対応に感謝申し上げます。ありがとうございました。(50代 女性)
- ・ コロナ禍で救急隊の方々のご苦労をよく TV で目にします。まだまだ大変な期間が続きそうですが、どうぞよろしくお願いいたします。(50代 女性)
- ・ 我々都民の生活、安全を縁の下で支えて頂き、いつも感謝して、頼りにしています。今回の調査票により消防団に対する興味がわきました。(40代 男性)
- ・ 日々、地域を守る取り組み、ありがとうございます。子供にも親切に接して下さい、このような方々が私たちの暮らしを守ってくれていると思うと温かく頼もしい気持ちになります。(30代 女性)
- ・ いつもありがとうございます。電話が繋がった瞬間から何とも言えない安心感を感じる事ができます。頼りにしています。これからも頑張ってください。(40代 女性)
- ・ とてもがんばってくださっていると思います。ありがとうございます。(50代 男性)
- ・ 本当に大変なお仕事心より感謝しています。どうか皆さまの健康、安全が守られますように。(20代 男性)

- ・ 消防についての知識を深めていきたいと思いました。(50代 女性)
- ・ 緊急時には、なくてはならない消防隊の皆様へ唯々、敬意と感謝を申し上げたい気持ちです。ご苦労様でございます。(60代 女性)
- ・ 大変なお仕事だと思います。ありがとうございます。(40代 男性)
- ・ 国民の安全のために、活動して頂き感謝しています。消防士さんが働きやすい環境になる事を願っています。(30代 女性)
- ・ 近くに消防署があり、毎日訓練されているのを目にしております。今年の猛暑の中も、毎日大変な努力をされているのを目の当たりにし、いつも頭が下がります。身体に気を付けてください。ありがとうございます。(60代 女性)
- ・ 常日頃頑張られていると思うのでこれからも身体に気を付けて頑張ってもらいたいです。(30代 男性)
- ・ 常に、一生懸命仕事をしていてくれていると思っているし、TVなどでも本当に命懸けで働いているのを見えています。冬の夜の「火の用心」の見回りも一人住まいの私には嬉しい風物と思っています。(60代 女性)
- ・ 地域の防火防災のために毎日鍛錬している姿を目にしています。感謝しています。(50代 女性)
- ・ 義母が95才の時にすごいわがままな人で、肩が痛いと言き叫んで、119番しました。救急隊の方のやさしい対応に感謝しました。今本当にコロナでどんなに大変か、どうぞ皆様ご自愛下さい。(60代 女性)
- ・ 日頃から消防救急とお世話になり、ありがとうございます。コロナで大変だと思いますが、地域に寄りそって親切な対応、よろしく願い致します。(50代 女性)
- ・ 私、そして家族が救急車のお世話になったことがあります。救命士さんのご対応がその都度すばらしいです。感謝しております。(60代 女性)
- ・ 私は心臓が悪い為、若い頃から救急車にはお世話になっています。いろいろと引越することが多く、いろんな場所で救急車のお世話になりました。今はなるべくお世話にならないようにしたいですね。皆様も大変ですが家族の人達もご苦労さまだと思います。コロナ、災害、身体休む暇なく神経は使うし本当に感謝しております。世界が平和になるよう、皆様にご苦労をかけたくなっています。(70代 女性)
- ・ 毎日大変だと思いますが、応援していますので頑張ってください。(30代 男性)
- ・ 都民の安全、救急をよろしくお願い致します。(60代 男性)
- ・ 皆様 お身体に気をつけて、くれぐれもご自愛なさってください。いつもありがとうございます。(50代 女性)
- ・ 救急救命士の方々が、幅広く活躍できる様、法整備が必要と思います。両親、義母が何回か、119で対応頂きました。その際の対応に深く感謝しております。(50代 女性)
- ・ 近所の消防署で、日頃から訓練を重ねていただいている姿を拝見します。危険な災害現場へ急行する為に、強い意志と、強健な身体を保ち続けていただいていること、本当に有難く思っております。御家族の皆様のためにも、ご自分の命も大切になさってください。(50代 女性)
- ・ 新型コロナウイルスに世の中が困難な状況になり、私共主人と自分はこれまで救急車を呼ぶことが3回有りどんな時でも助けていただくことに感謝しております。有りありがとうございます。コロナ禍になった状況にては救急車は利用しておりません。(70代 女性)

- ・ 以前、2歳の息子と消防車を見に、野方消防署に伺った際、外から見学していたら、消防士の方が気付いて、息子にとても親身に接してくれました。小さい子供の夢も守ってくれて、とても嬉しかったです。ありがとうございました。(30代 女性)
- ・ コロナ禍での命懸けのお仕事、ありがとうございます。心から感謝致します。(60代 女性)
- ・ 自宅前の道路が消防車のよく通る道ですが、日々、昼夜を問わず出勤して下さっているのがわかります。大変な現場に駆けつけて我々を助けて下さっている事、本当に頭が下がります。いつもありがとうございます。(40代 女性)
- ・ 日頃のご活動ご苦労さまです。また緊急時のご活躍にも敬意を表します。福島原発事故の際の決死的活動は記憶に鮮明です。近年、地球温暖化が進み、風水害の多発、大規模化が進んでいます。特に東京は直下型地震の心配があります。今後共都民の安全を守るためにどうぞよろしくお願い致します。(70代 女性)
- ・ 今まで付き添いも含め複数回救急車に乗っていますが、いつも救急隊員の方はとても優しく丁寧で、本当に有り難いです。この場をお借りして感謝を申し上げます。(50代 女性)
- ・ 本当に人民の為に尽くして下さいありがたいと思っています。(70代 女性)
- ・ コロナ禍の中大変だと思いますが、都民のために頑張ってください。(50代 男性)
- ・ 消防署は自分の生活に関係ないと思っていた頃は近付きにくくコワ〜イ、イメージがあったが実際はそうではなく皆さんやさしい方ばかり。わからない事を質問しても理解できるようにやさしく教えてくれました。これからもお仕事を頑張ってください。(60代 女性)
- ・ いつも命がけで活動していただいて本当にありがとうございます。(40代 男性)
- ・ 子どもがじーっと見てると、構ってくれてありがとうございます！！もっと関わりを持てるようになればありがたいです。(コロナのせいでムズかしいと思うのが残念です)(30代 女性)
- ・ 24時間365日、安心して暮らせるように、活動して下さって感謝します！(40代 女性)
- ・ 日々の活動に頭が下がります。(60代 男性)
- ・ 様々な種類の救急、災害又コロナ等に対する日々の活動に感謝致しております。皆様のご健康を何より祈念申し上げます。(60代 男性)
- ・ 健康第一でお仕事頑張ってください。(50代 女性)
- ・ 都民の安全を守って下さってありがとうございます。自分ももっと防災意識を高めて気をつけたいと思います。(50代 女性)
- ・ 近所に消防署があるのでなんとなく安心です。いつもありがとうございます。(20代 女性)
- ・ いつも私たちの生活を支えて下さりありがとうございます。(60代 女性)
- ・ 地域の安全・安心を守る活動に感謝致します。(60代 男性)
- ・ 昼夜、危険と隣り合わせの中、都民のために勤務されていてありがたく思います。過重勤務にならないよう職員の人数を増やして頂きたいです。(60代 女性)
- ・ いつも都民の安全を守って下さりありがとうございます。今回の調査に協力して自分の防災や非常時の対応に対する意識の低さを実感しました。これを機会にもっと自分で防災について調べたり自宅の対策を試してみたいと思いました。(30代 女性)
- ・ 日々私たちのことを守ってくれてありがとうございます。大変な世の中になってしまいましたが、頑張ってください。(30代 男性)
- ・ 東京都の区民の為に、更なる活躍を期待しています。(50代 男性)
- ・ いつもありがとうございます。東京消防庁公式アプリ…さっそくダウンロードしたいと思います。(50代 女性)

- ・ ヤクルトレディをしていた頃、訓練している様子出勤する時など見たり、情報など教えて下さっておりました。すごく体力のいる仕事ですし、人の役に立つ立派な仕事で素敵だなあと思って見ておりました。消防署にヤクルトを届けながら、貴重な体験をさせて頂きました。大変だと思いますが頑張ってください。応援しています。(40代 女性)
- ・ 今のところ、まだ消防の方々にお世話になったことはありませんが、毎週土曜朝の8時頃、府中市九小の近くの消防署の前を車で通りますが、みなさんが元気に体操などしている姿を見かけるたび、人は人に支えられて生きている、という思いを深くしております。(50代 女性)
- ・ いつも市民を守って頂き本当にありがとうございます！！救急車を初めて利用し、救急隊員の言葉かけ、対応に本当に救われました。ありがとうございます！！災害の際どうするのか？考えるきっかけがあればありがたいです。(30代 女性)
- ・ いつも都民の安全を守っていただきありがとうございます。危険と隣り合わせのお仕事なので皆様をとて尊敬しています。お体ご自愛ください。(30代 女性)
- ・ 消防署の前を通るたび、訓練されている皆様の真剣な表情と高い技術をうかがいますと、頭があがらない(気持ち)と思います。いつも私たちを守ってください、ありがとうございます。(40代 男性)
- ・ 大変なお仕事ご苦労様です。これからもお体に気をつけて、都民を守ってくれるとうれしいです。(30代 男性)
- ・ 以前、親が救急車でお世話になった際、大変良くして頂き、感謝しています。(40代 女性)
- ・ いつも地域の為に働いてくださり本当にありがとうございます。これからも地域の安全の為に頑張ってください。(20代 男性)
- ・ 質問にあったAEDの使い方、心臓マッサージなど知らないことがたくさんあります。身近な人に何かあった時のための最低限は勉強してみたいと思っていますがなかなかできないです。コロナが流行っている中ですが子供と一緒に覚えられるような、体験できるイベントがあればぜひ参加してみたいです。公式アプリも今回初めて知ったので早速見てみようと思います。消防署の方、忙しいのに子供にいつも優しく声をかけてくださってほんとにありがとうございます。(40代 女性)
- ・ 都民の暮らしを守っていただき感謝しております。3.11にありましたがご自身の身を守ることも大切にしてください。(70代 男性)
- ・ 本当に有難うございます。このコロナ禍大変な連続かと察しますが逆に皆さんくれぐれもご自愛の程を。(70代 男性)
- ・ 訓練している姿を見かけます。地域の人々のためにご尽力いただきありがとうございます。(40代 女性)
- ・ 都民の暮らしを守って下さりありがとうございます。これからもよろしくお願いします。頑張ってください。(30代 女性)
- ・ 我々の日常生活を守って下さる消防署にかかわる方々に敬意を表します。いつもありがとうございます。(50代 男性)
- ・ 近くに消防署があり、出勤していない時に、訓練をしているのを見かけます。地域の住民としては頼もしいです。(60代 女性)
- ・ いつもありがとうございます！！利用したことは無いですが、日頃の活動に感謝しています。(40代 男性)
- ・ 子供(息子)が、防災に興味があり、防災館で体験をさせていただいております。とても役に立つ体験ばかりで、いつも感謝しております。ありがとうございます。(40代 女性)

- ・ 皆様の活動によって、安心して生活ができています。ありがとうございます。(40代 男性)
- ・ 消防署、消防団、消防庁の方、いつもありがとうございます。(70代 女性)
- ・ 感謝しかありません。ヘルニアで右足マヒした時、119番ですぐにきてくださって、本当に助かりました。ありがとうございます。(50代 女性)
- ・ 国内外における災害のご対応、心より感謝致しております。心の傷む状況も多くあるこの頃ですが、心身共に一日も多い健やかな日を過ごされます様にお祈り致します。(50代 女性)
- ・ 生命を守るには人の力が必要です。消防庁の方々には感謝しております。人は人を助ける事があたり前のような時もあります。世の中の方がもっと人を助ける気持ちが1人1人あれば良いのにな〜と願っています。いつも有り難うございます。(40代 女性)
- ・ コロナ禍での救急対応、災害時に構えての情報提供などに関して消防庁は頼もしい存在であり信頼しております。アプリも活用させていただきます。救急隊員、消防隊員の皆さま日々私たちの生活を守っていただきありがとうございます！！(50代 女性)
- ・ 救急車に何度もお世話になっております。母が意識朦朧となつてしまいパニックになっている私に何度も優しく声を掛けてくれ、落ち着かせてくれた救急隊の皆様には感謝しかありません。本当にありがとうございます。(40代 男性)
- ・ 我々の安全を守る活動に感謝しています。(40代 男性)
- ・ コロナ患者への対応等毎日のご尽力に深く感謝申し上げます。隊員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。くれぐれもお身体をご自愛下さい。(60代 女性)
- ・ 子供(3才男の子)が消防車が大好きなので、見るたびに喜んでます。イベント等あったらぜひ参加したいです。(30代 女性)
- ・ 地域の防災訓練ではていねいに教えてくださってありがとうございます。(40代 女性)
- ・ 地域を守る仕事をしていただいて、ありがとうございます。(60代 女性)
- ・ 日々の活動ありがとうございます。自分が全くダメダメなのがわかりました。(50代 女性)
- ・ 主人が体調不良になり、救急車を呼びました。コロナ禍でしたがすぐ駆けつけて下さり、病院へつなげてくれました。本当に感謝いたしました。ありがとうございます。(50代 女性)
- ・ 大変なお仕事と考えております。皆さん大変と考えると救急車を呼ぶ、タイミングがむずかしいです。自分や家族のためには呼べず、車で行ってしまいます。近所に老人が多く助けを求められ救急車を呼びました。どうぞ皆様おからだに気をつけて、ご活躍ください。感謝いたしております。(60代 女性)
- ・ コロナ禍で大変な時期にも関わらず、毎日お疲れ様です。(20代 男性)
- ・ 近くの消防署で毎日厳しい訓練をしていて、本当にすごいと思う。この人達なら、いざという時も命を任せられると感じる。子供(5才)もカッコイイ。と通るたびにじーっと見ています。(30代 女性)
- ・ 日頃、消防活動にご尽力いただき、ありがとうございます。今後、水害や地震などの大災害が予想されます。被害が最少になるよう、増々の取組をお願いいたします。(50代 男性)
- ・ 非常時ではないときに、子供が消防車を見て、手を振った時に、振り返りくださって、ありがとうございます。(30代 女性)
- ・ 日々の活動に感謝します。子ども達は救急車、消防車が大好きです。お身体に気を付けて、がんばって下さい。(30代 女性)
- ・ 昼夜問わず、ご対応いただける安心に感謝しています。(50代 女性)
- ・ 頼りにしています。訓練、大変だと思いますが、応援しています！(30代 男性)

- ・ 以前高齢の父が自宅で転倒しケガをした際救急隊の方にお世話になりました。対応が丁寧で安心できました。ありがとうございました。(50代 女性)
- ・ 災害の多い日本で、いつも活動して頂き感謝しています。近年、近所づきあいが減っているなか、町内のくくりではなく、各個人が防災に関する知識を得られる場がもっと増えたら、と思います。ネットで見聞きはできますが、AED 他、いざ実戦になると怖い気持ちもあります。(30代 女性)
- ・ お世話になる事がないのが一番とは思いますが、安心安全は平穏な生活の基盤です。いつもありがとうございます。(60代 女性)
- ・ 多発する災害にコロナ禍、大変な時代ですが私達が安心して暮らしていけるのは皆さんのおかげです。いつも有難うございます。(40代 男性)
- ・ いつもありがとうございます。これからお世話になることがあると思います。よろしく願います。(50代 女性)
- ・ 災害で何かあったら必ず頼らなければならないので、いつも訓練や活動して下さり感謝しています。(50代 男性)
- ・ 勤務先で消防署の指導、訓練を経験。消防士の大変さが判る。都民一人一人があらゆる面で自己啓発をするべき。自然災害の準備は必要。(70代 男性)
- ・ 小学校で町会単位での訓練や講習を受けたことがあります。とても良い経験でした。家具の固定を行います。(70代 女性)
- ・ 以前救急車にお世話になったときに消防隊員の方に親切にして頂きました。ありがとうございました。(50代 女性)
- ・ 体を張る仕事もあると思います。気をつけて下さい。ごくろうさまです。(60代 男性)
- ・ もう何十年も前の事だが、配達をしていて火事の現場を通った時、太った中年の消防士が、機敏に動いているのをみた時、涙ぐんだことがあった。(70代 男性)
- ・ いつも大変な訓練をして危険ととなりあわせの中ががんばっていただきありがとうございます。できるかぎりお世話にならないよう生活していきたいと思います。(40代 女性)
- ・ いつも都民のために頑張ってください、本当にありがとうございます。消防署の前を通る時、いつも一生懸命に訓練等をしているのを見て毎回感動、感心しています。消防署で働く人々は私の憧れです。どうぞお体に気をつけて、これからも頑張ってください。(50代 男性)
- ・ 日本の消防隊、救急隊の方々は本当にすばらしい仕事をしてくださっていると感謝しております。これからも頑張ってください。(50代 男性)
- ・ いつもご苦労様です。これからもよろしくお願い致します。また、以前のような状況になり、イベント等行えるようになれば息子と参加したいと思っています。(40代 女性)
- ・ 娘は看護師、甥っ子は救急救命士を目指しています。人命救助を仕事にしている方たちは特別な存在なんだそうです。頼りになる存在そんな仕事に着きたいそうです。子供たちはしっかり見えています。このご時世大変だとは思いますが、お体に気をつけて頑張ってください。(40代 男性)
- ・ いつもありがとうございます！体に気をつけて頑張ってください！(60代 女性)
- ・ 日々の業務、訓練等おつかれ様でございます。「何事もない」のが一番ではありますが、その為には我々一般人の意識向上は欠かせないと思います。起きて欲しくない事から目を背けず、各地のニュース等を他人事とせず、地域と自身の安全と安心を得たいと思います。いつも有難うございます！(50代 男性)



- ・ コロナ禍で限界を超えるような活動に追われているでしょうが、消防は都民の命綱です。今後もご健闘を。(60代 男性)
- ・ 都民の命を守るために日々大変なお仕事をされていることに大変感謝しております。ありがとうございます。(20代 女性)
- ・ 国民の安全のためにより一層活躍を期待します。(30代 女性)
- ・ 警察や消防に携わる方々が、暇である世の中であることを、願っています。いつも、私達を支えて頂き感謝申し上げます。(70代 男性)
- ・ 日々の訓練、活動、大変おつかれさまです。陰ながら応援しております。(40代 男性)
- ・ いつも私たちの暮らしを守ってくれてありがとうございます。救急車など呼んだ時など、動揺している時に優しくお声がけをしていただき、安心していられるようご対応が素晴らしいです。カッコいいです。これからも陰ながら応援しています。(50代 女性)
- ・ コロナで大変な中、いつもありがとうございます。皆様お体を大事になさって下さい。これからもよろしく願いいたします。(50代 女性)
- ・ 日々の活動に関して、頭の下がる思いです。(過去3回、救急車のお世話になっています)(腹痛2回、出産(出血多量))これからもよろしく願い致します。(60代 女性)
- ・ いつも町の安全を守ってくださりありがとうございます。消防団の消防操法大会で目にした美しいほど迅速丁寧な動きに小学生ながら魅了されたことを今でも覚えています。(10代 女性)
- ・ 日頃よりありがとうございます。自分自身も常に防災意識を持って行動したいと思います。(50代 男性)
- ・ いつもありがとうございます。これからも私たちを見守って下さい。(40代 女性)
- ・ 昨今のコロナ禍もあり、特に救急車の運用など大変なことと感謝しています。首都圏の地震が近づいているとの報道もあり、災害時の備えやどこに行くかなどが、親しめる形式でスマホにアプリとしてダウンロードしておけ、さらに時々更新されるようになっているといざというときに頼りになるのでご検討いただけるとありがたいです。(50代 男性)
- ・ 日々の隊員の方の訓練そしてこのコロナ禍の激務大変かと思います。いつもありがとうございます。(30代 男性)
- ・ 大変な時期ではありますが、がんばりましょう!!(50代 男性)

#### ■ 広報活動・情報提供・知りたいことなどについて

- ・ 職場で避難訓練を実施しましたが、緊張感がなく、現場の仕事で忙しいと思いますが地域ごとに来て頂いたり、子供たちにも知識を身につけるためにも博物館などがあると親子で学べると思っています。アプリもさっそく使ってみます。(30代 女性)
- ・ (火災がおきる前に) やっておかなくてはならない事とか、火事にならないようにはどうするべきとか、指導する場面をもっとつくってほしい。(50代 女性)
- ・ 古い木造建築が散見される地域に住んでいるので、ひとたび火災となったら延焼が心配です。事前対策出来ることがあれば知りたいです。(30代 女性)
- ・ 入居施設や共同生活援助施設での消火訓練、指導などいつもお世話になっております。避難訓練の指導などもしていただけるとありがたいです。(30代 男性)
- ・ 子供が小さいときによく消防車を見に消防署へは行きました。学校にも職場にも属さない人、また、地域にも属さない独身者等が気軽に知識を得られる機会があればよいと思います。(50代 女性)

- ・ 消防士や消防団の活躍を動画(YouTube)で発信して、若い世代を啓発して欲しいです。(50代 男性)
- ・ 消防に関しての情報はインターネットを見ればいくらでも検索はできるが、実際は自分から検索して見に行くことはほとんどないため、知らないことが多い。なので、消防庁側から、積極的にイベントや対話できるシーンを作って情報提供していき、みんなの知識を増やすことが大切かと思います。(40代 女性)
- ・ P.3にも書きましたが、石膏ボードの天井の場合つっぱり棒はききません。その場合タンスを固定するためつっぱり棒以外の方法を教えてください。何度も防災訓練に出て質問していますが、明確な解答をいただけません。ご教示ください。(70代 男性)
- ・ AEDの使い方を地上波でCMのように流す。家から一番近いAEDの場所を認識させていただきたい。(40代 女性)
- ・ 家具の固定方法を教えてほしい。本棚だけでなく、ピアノや冷蔵庫などどうやって固定したらよいかわからない。またそのような防災グッズ、消火器、警報装置などをどうやって手に入れたらよいか教えてほしい。(60代 男性)
- ・ 大災害時のシミュレーションにおいて、一般市民の動きや消防隊員の動きについて、想定ができるようご教示いただければと存じます。(50代 男性)
- ・ 東京防災(東京都)の様なものを充実してほしい。(ネット等をもっと活用、企業コラボや話題作りも)(50代 男性)
- ・ 何も無い平和な毎日がいいですが、税金なので、日々人の役に立ってほしいです。税金が値上げして、お給料が安定していて少し不満に感じることもあります。使った税金に対する費用対効果の開示をしてほしいです。(30代 女性)
- ・ いつも有難うございます。日頃思うのは、火災らしきサイレンが近隣で聞こえている時、それが何処なのか？近くなのか？の情報がネットで確認出来ると助かります。以前住んでました川崎市では、ネットから消防車の火災出動情報が見れましたので有り難かったです。(もしかしたら既に情報を確認出来るサイトがありましたら失礼…前に探しましたが見つけれませんでしたので。)(50代 女性)
- ・ 自宅で急変した方はパニックになり取り合えず119番通報をしてしまうと思われる。#7119をもっとアピールして活用した方がよいと思われる。(60代 男性)
- ・ 本調査事項で、そうなのかと教えられた点が多々ありました。改めて都定期発行物など目を通し関連講習など考えたい。ご安全に。(30代 男性)
- ・ 上級救命講習の有効期限(3年)が切れる前に再講習についての日時、場所などについての案内をいただけるとありがたいと思う。(60代 女性)
- ・ #7199についてまだ、知らない方が多いと思いますので、PR活動をもっとした方が良いと思います。(60代 男性)
- ・ 日本在住の外国人が消防庁のホームページから情報を得られることを周知し、外国語のページにたどり着きやすくしてほしい。(30代 女性)
- ・ 小学校で行われる消防写生会、校庭に消防車や救急車が来てくれて間近で見れるのが楽しいようです。親もどんな絵を描いてくれるのかいつも楽しみです。これからも続けてほしい活動です。(30代 女性)
- ・ 一度AEDの使い方等教えてもらえば覚えているので、学生にも教えてくれるといいなと思います。(40代 女性)
- ・

- ・ 子供に食物アレルギー（牛乳・乳製品）があり、もし大きな地震がきて避難生活を送ることを考えると不安です。自宅にはアレルギーであっても食べることの出来る食べ物を準備していますが、避難所にどの程度備蓄してあるのか情報がありません。そういった情報も伝えて頂けると助かります。よろしく願い致します。(40代 女性)
- ・ 消防との接点は全くありませんでした。地震が来たとき、近所の火事を自分たちで消したり、けが人の手当てをしたりする技能は必須です。町内会の掲示板に講習会日程を出して頂ければ、かなりの数の人員が確保できるように思います。(60代 男性)
- ・ 消火器の種類ごとの違い等、誰もが知る事が出来たらもう少しみんなで助け合えるかなと思います。(40代 女性)
- ・ 講習会などに積極的に出席してみたいと思います。(60代 性別不明)
- ・ 今回の調査で#7119というものを知ることができました。公式アプリも便利ですが、実際にダウンロードして活用できる世代は限られていると思います。中高年層に届きやすい情報提供の方法を取り入れていただけたら救急や防災への理解が深まりますし、地域に密着した内容を提供いただくことで関心が一層高まると思います。(50代 女性)
- ・ よくやってもらっていると思う。防災に関しては、区報など、地域に密着したお知らせをして、参加を促して欲しい。(50代 男性)
- ・ 消防庁の住民への啓蒙チラシを駅や商業施設において、手軽に読める環境ができると良いのでは！(60代 男性)
- ・ 有事外の活動をもっと啓発すれば、興味を持つ人が増えると思います。(20代 男性)
- ・ 情報提供がどうしてもインターネットやチラシのみなので、あらゆる色々な障害の人に対応できる情報提供を望みます。(60代 女性)
- ・ AED マップの周知及び精度の高上。youtube やサイトの公告など、若者を中心に広め協力を募るなど。(20代 女性)
- ・ 1、小学生に定期的に防火・防災についての教育を実施してほしい。2、消防博物館・防災館を有効に活用してほしい。3、消防署内の空調設備更新工事の責任者をした経験から内部の事も良く知っている者として、消防官の職務・訓練等多大な努力を一般人にも理解する機会を与えてほしいと思います。(60代 男性)
- ・ 7月末に近所で火災があり1人暮らしのおばあちゃんが亡くなってしまいました。この近所は昔ながらの赤道と呼ばれる軽自動車が1台通れるくらいの細い道が多く火災の時も大通りの方からホースを延ばして消火している光景を目の当たりにして怖くなりました。消防車が何十台と来ても火災現場に入っていけないのです。結局住宅は全焼。大通りで待機してる消防車ももっと近くまで行けたらとか…消火栓の場所など住民にも知ってもらえる活動があっても良いかな～と思いました。(50代 女性)
- ・ 消防庁のお仕事は緊張や緊迫する物が多く大変では？イベントに時間を割くより職員の方の健康促進に力を入れ、いざという時にしっかり助けて欲しいです。(40代 女性)
- ・ 救急の有料化を導入するべき。もっと、メディアを利用して救急や消防の番組を出した方が、良い。その中で、火災時の対応や救急の適切に呼ぶ判断や救急の相談窓口などを伝えるべき。警察ばかりの番組が多すぎる。もっと、国民にアナウンスをするべきで、医療系のドラマよりアメリカにあるような救急や消防を中心としたドラマを作ってみんなに活躍を知ってもらう機会を増やすべき。(50代 女性)
- ・ 自戒を含めて、消防への意識リテラシーの向上活動が活発になる取り組みが進むことを期待します。(50代 男性)

- ・ AED の使い方を TV で CM のように放映したらどうでしょうか。見る機会が増えれば使える人（興味を持つ人）が多くなるのではないかと思います。いつもご苦労様です。私達の為に働いて下さりありがとうございます。（50代 女性）
- ・ 具体的にどんな仕事をしていらっしゃるのか、どんなときに頼って良いのかななどを地域の掲示板やスーパー、商業施設などにポスターなどで示していただけるともっと身近に感じられると思います。大変なことが起こった時しか頼ってはいけないという意識があるので、こういうときには頼っていいんだと思えるように意識が変わっていったらいいのかなと思います。（30代 女性）
- ・ 最近の情報などのやりとりで、パソコンや、スマホ使用の必要が多く見られますが、私達老人は持っていないかったり、使いこなせなかったりで不便を感じています。出来ない人が多い事も考えてほしいです。（70代 女性）
- ・ 実際に火災が起きた時の逃げ方や逃げる方向について知りたい。（50代 男性）
- ・ 消防団に関する事は全くといってよい程、知りません。災害への対応などを考えると、消防団の意義・期待は大きくなるのが想定されます。名前を今風に変更し、広報活動があると今後に備えてとても良いと思いました。（60代 男性）
- ・ 日常で起こりうる火災の事例を、子供たちに伝える機会を作っていただきたい。以前近所でボヤが発生したのですが、火元はコンセントだったそうです。小学5年生と2年生の子供たちにそれを話すと、とても驚いていました。そんなことで火事になるなんて知らなかったようです。火事になって、大切な家や思い出の物が燃えてしまったら、もう元には戻らないんだよ！と話しました。それからは子供たちのコンセントに対する意識が変わりました。中途半端に差し込んでいないか、埃が溜まっていないか、自分たちから気をつけるようになりました。（30代 女性）
- ・ 応急手当のできる救命講習の案内を多くいただきたいです。（50代 男性）
- ・ 年間をとおしてどんなイベントがあるのかを幼稚園や小学校などの訓練の時にパンフレットやチラシなどでほしいです。いつごろ、どこで、どんなイベントをやっているとか、消防博物館などの情報とかあるといいです。（50代 女性）
- ・ 住民（大人）向けにもっと広報してほしい。（40代 男性）
- ・ 都民にとって、これから高齢者社会になっていく為なるべく具体的にわかりやすい情報発信をして下さい。又、スマホパソコンも使い方も不慣れの為、デジタルも必要ですが広報活動でも発信して下さい。（70代 女性）
- ・ ~警察 24 時?などの TV 番組は、たまに放映されていますが消防関連は、少ないように感じます。海外のドラマが好きで以前シカゴファイヤーという番組に夫婦ではまりました。火災や人命救助、また職務についている方々のご苦労など非常に感銘を受けた内容でした。都民の認知度や理解度、行動を促すのであるならばややソフトな路線から浸透させる方法が良いと考えます。（60代 男性）
- ・ まだまだ災害対策をどうしたら良いのか分からない方（自分も含め）多いと思いますので、知識、情報提供なども増やしていくと、災害の際の死者や負傷者も減ると思います。（20代 女性）
- ・ なるべく利用しない為に日々の生活に気をつける事が最も大切だと思います。災害に対する予防の教育などは重要。（60代 女性）
- ・ 消防団は、なり手がいなくて加入してもらおう為の勧誘活動が大変そうです。若者向けにもっと消防団を PR できたら良いのではと思います。（高校、大学の校内とかで）（40代 女性）

- ・ コロナ禍での困難な業務に携われる「消防庁」の皆様にお礼申し上げます。自然災害、パンデミック、この深刻な現実にも直面しても実感が湧かず、私は問題意識も低く、まさにボーッと生きています。この機会を通して知った「消防庁アプリ」はとても役に立ちます。ネット社会ではこういう有益な情報こそをキャッチし生活に役立てて行きたいと思えます。友人にもダウンロードをすすめます。できましたら、高齢者向けとして、「緊急連絡」と「マップ、イベント情報」に絞ったシンプルでとりつき易いアプリがあったら有難いです。スマホのキュータ君のアイコンは安心感をもたらします。(70代 女性)
- ・ TVで親しみやすく情報をつたえる方法を考えていただけても良いかな。(60代 女性)
- ・ 防災全般について、学校などで勉強、教育、訓練などの機会がもう少し多くあっても良いと思えます。実際に行動できる人はとても少ないと思えます。(30代 女性)

#### ■調査に協力して初めて気づいたこと、改めて感じたこと

- ・ 公式アプリがあること、このアンケートで知りました。もっと広報活動で、HPアプリが役立つことアピールしたほうが良いと思えます。(60代 女性)
- ・ 今回のアンケートで東京消防庁もいろいろなサービスを行っていることが分かりました。子どもたちは定期的に避難訓練を学校で行っていますが、肝心の親が、うろ覚えだったり、知らなかったりするの、自らも、消防庁のサイトへアクセスしてみたりしないと…と思いました。もっと大々的に、ある期間、キャンペーンを開催してくれたりすると、もっと身近に感じるかもしれないです…。(40代 女性)
- ・ 今回のアンケートで知らない事を知ることが出来ました。(70代 女性)
- ・ 今回、アンケート依頼により防災の事を改めて考える機会になりました。同封の東京消防庁公式アプリを早速ダウンロードします。(50代 女性)
- ・ このアンケートで公式アプリがあることを知りました。アプリをDLして活用しようと思えます。(50代 男性)
- ・ アンケートを実施してみて、改めて知らないことが多い。関心が低いことに気がついた。応急処置教育など消防知識の取得には、より強制力をもった形で参加をうながしていくしくみが必要ではないかと感じました。(40代 男性)
- ・ あまり関わりなく生活しておりますが、いざという時に守っていただける安心感は常にあります。このようなアンケートが届き、活動を知るきっかけになりました。今後もご活躍応援しています。(50代 男性)
- ・ 今回の「消防に関する世論調査」の依頼を受けて初めて東京消防庁の公式アプリの存在を知った。日ごろのPRが足りていないのではないかと。生かすべきものがあったら周知させなければ意味がない、残念。(60代 女性)
- ・ 夜強風で車庫のシャッターが外れた時は、お世話になりました。今回のアンケートで火災報知器が12月で10年になる事に気が付きました。消火器もだいぶ古く新しい物を注文しました。いつもご苦勞様です。(60代 女性)
- ・ ハイパーレスキュー隊がいる立川防災館には子供を連れて何回か行った。あのような施設で子供の時から防災を身近に感じるのはいいと思う。また大人も防災食が色々あって目からウロコだった。コロナになって今まで以上に大変な仕事が増えているのではと思えますが、皆さんの働きに感謝し、応援しています！(40代 女性)
- ・ 日常、何も不安が無い時は、必要性を忘れがちですが、こういうキッカケがあると、考え出すので、我々もアンテナを広げておいた方がいいなと思えました。(40代 女性)

- ・ 最近の異常気象とかで、災害が頻発しているので、東京消防庁様の方での役割が、ますます重要になると思います。先日も商店街合同で防災訓練を行い私達 1 人 1 人も、AED やスタンドパイプや消火器の扱いの知識をしっかり身につけて、防災意識を高めて、自助、共助の部分で、被害が少なくすることが大切だと思いました。(50 代 女性)
- ・ 回答を進めていくうちに、個人の意識が災害等の被害を少なくしていく事を感じました。改めて、家の中を見なおしてみます。(60 代 女性)
- ・ 今回の調査で消防庁のアプリがあることを知り、様々なコンテンツを含んでいることがわかりました。特に緊急ツールは役立ちそうだと思います。(50 代 女性)
- ・ 消防庁公式アプリを知ることができたので、この後ダウンロードします。(50 代 女性)
- ・ アプリがあると知りませんでした。もっと普及（チラシを学校に配るなど）したら良いと思います。(40 代 女性)
- ・ 地域のコミュニティバスに乗車しましたら、火災警報器 10 年過ぎたものは本体ごと交換だとわかりやすくアナウンスが流れました。いろいろなところでアドバイスがあると良いと思います。(60 代 女性)
- ・ 地震の体験と救命訓練には以前から興味があるのですが、自分から時間を作ってわざわざ、ということはないので、「義務」として受けさせる、くらいのことでも良いのかと思います。とくに私の様な都会マンション賃貸・子なしパートタイム主婦は、町内会とも企業とも学校とも無縁な人は、そのような機会がありません。(40 代 女性)

#### ■救急車の利用について

- ・ 不要な救急車の呼び出しが多いと聞くので、有料にして（1 回 2000 円など）タクシー替わりのように呼ぶ人がいないように、本当に必要な人が使えるようにと思います。(30 代 女性)
- ・ 以前 119 に電話した時バス停にいたので、〇〇バス〇〇行き〇〇停留所と何度言ってもわかってもらえず他に目印はと言われ、説明にかなり時間がかかりました。これほどわかりやすい目印で公共の場所なのに、消防署の使用している地図にバス停は記載されていないのでしょうか。バス停で検索できるようにして頂きたい。(50 代 女性)
- ・ 救急車の通常のサイレン音が、一般車、商用車のドライバーの耳に到達していないのでは、と感じるケースがあります。音量の問題もあるかとは思いますが、交差点侵入時に使用されている別のサイレン等をうまくミックスされてはいかがでしょうか？(50 代 男性)
- ・ 消防庁というよりは病院への要望かもしれませんが、#7119 を利用して紹介いただいた病院へ電話をしても断られましたが、その後救急車で結局同じ病院へ行ったことがあります。こういった事例が頻繁に起こると、#7119 を利用する意味がなくなってしまうように感じました。せっかくいい制度だと思うのに…。#7119 から紹介された方は病院の方でも優先的に受け付けてくれたりすると更にいい制度になると思います。ご検討いただけると幸いです。(40 代 女性)
- ・ 居住地区は住宅が密集している上に道路が狭く、いざという時に速やかに救助をしていただけるものか心配です。こういった地域への車の進入経路等を標識等で明示し、住人と共有する様な仕組みがあると良いと思います。(50 代 女性)
- ・ コロナ禍に於いて救急車をすぐに発車させる方法を考えてください。まず酸素ステーションに連れて行くなど。(50 代 女性)
- ・ 救急車と消防車のセットアップは必要ない場合がほとんどではないか？ 出動方法の仕組みを見直すべきではないか。(60 代 男性)

- ・ 事故、病気など急患の病院受け入れ先を今現在よりも1分、1秒でも迅速に行える様受け入れ先病院と連携を今まで以上に強化して頂きたいと思います。(60代 男性)
- ・ 救急車に何度かお世話になりましたが、近くの消防署の車が出はらっていて別の地域からの車が来てくれました。受診している病院に連れて行ってもらいましたが、道が遠回りで辛い状態で大変不安になりました。良い解決方法があると安心出来ると思いました。宜しくお願い致します!(60代 女性)
- ・ 以前に、救急車をお願いしたところ他市から来て時間がかかりました。喉に異物を詰まらせてしまい窒息状態でした。隊員の方に「掃除機は使ってみましたか」と言われました。あの時に掃除機を使っていれば救命出来たかと、悔やまれます。(60代 女性)
- ・ 救急隊員の方は手際が良くなおかつ親切なので大変感謝しています。救急車を呼んだが中から施錠してあった場合はどうするのでしょうか。ちょっとした事がわからないのでそういったQ&Aがあると良いです。電話途中で通話が不能になったらとか。(70代 女性)

### ■その他の要望など

- ・ 災害が増える中、日々お疲れ様です。今後ますます皆様の活躍が重要になりますね。災害時対応は、皆さんだけに頼るのではなくやはり住人を中心とした地域の活動が大切だと思います。エネルギーと同じように地産地消的な発想です。全国レベルのBCP活動の重要性は勿論ですが今後予測される大震災や増え続ける自然災害に向けての地域内対応の重要性の教宣を是非進めて頂きたいと思います。ドラマや人気YouTube等も良いのでは。(50代 男性)
- ・ 主人と娘のため2回ほど救急車を呼ばせて頂きました。どちらも隊員の方がやさしく対応してくださり、感謝の思いで一杯です。ただ、娘の場合、小児病院の搬送先がなかなか決まらず、決まるまで大変不安に思ったことが忘れられません。そこを何とかして欲しいです。コロナ禍で大変だと思いますが、宜しくお願い致します。(60代 女性)
- ・ 違法建築物撤去への働きかけ。(30代 男性)
- ・ 私が居住しているエリアが住居が密集していて、道幅も狭いため、火災が起きた際に消防車が入ってきづらく、消火作業等に時間がかかってしまう可能性が高いと感じています。小型の消防車や消防バイクなどの開発、導入のご検討お願い致します。(30代 男性)
- ・ アパート等の共同住宅通路の私物設置の撤去指導を積極的に実施して欲しいと思います。よろしく、お願いします。(60代 男性)
- ・ 新宿区若葉地区に在住。火災発生時に道路標識などにより、消防車が入れないエリアあり、改善して頂きたい。(50代 男性)
- ・ 土、日も危険物免状の手続きをやってくれるとありがたいです。(月1日でもお願いします)(40代 男性)
- ・ コロナで救急搬送される方が多いと思いますが、必ずしも病院に入院出来るとは限らず、病院の体制が整っていませんが、救急車内で、治療できれば少しは命を延命する事ができるのではないかと思います。(70代 女性)
- ・ コロナにより学習できたりリモートなど活用し、顔が見える相談などの受付があると安心して話ができると思います。(50代 男性)
- ・ 特殊部隊を増やしてほしい。(40代 男性)
- ・ 救急車、消防車、パトカー、サイレンの音、聞いてもわからない。(50代 男性)
- ・ いつもありがとうございます。Twitterなどで火災の対処方法や、災害時の注意事項、応急処置のしかたを発信して下さっているのが、大変ためになります。防災ハンドブック、とても

便利で内容も良いのですが、ポーチや手帳、サイフなどに簡易版?のようなものを入れられたら便利だと思うので、次回おまけでつけて頂けたらうれしいです。(30代 女性)

- ・ 平素よりご尽力頂きありがとうございます。#7119 を利用させて頂いた際、ご対応が不親切に感じました。お忙しいとは存じますが、困ってお電話をさせて頂いていますので通り一辺倒な対応ではなくもう少し親切に(親身に)対応して頂けるとありがたいと思いました。毎日の激務には感謝しております。ありがとうございます。皆様くれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。(50代 女性)
- ・ 耳が聞こえない友人がいます。他の人が見て、分かるようなものをくばる等出来ませんか?私は手話が出来ますが人々がパニックの中、耳が聞こえない人を見つけることが出来るかわかりません。例えば首に巻くバンダナに「耳が聞こえません」とか。(50代 女性)
- ・ 目黒区の地震館が閉館になってしまいとても残念です。子供達の身近な勉強できる所なのに…私も、子供と何度も行き学びました。せめて残してほしかったです。(50代 女性)
- ・ コロナ禍なので、救急車が今はなかなかよべないのではないかと思う。休日に、家族の具合が悪くなった時、自分であるていど何かできないといけなのではと思った。応急手当の救命講習に行けたら良いなと思いました。(40代 女性)
- ・ 車両が、赤信号に進入する際のアナウンス(?)がうるさい。よく聞き取れないのでうるさく感じる。聞き取りやすい統一の音声があれば良いのでは。(20代 女性)
- ・ 水害について、避難場所の(未使用の学校等)十分な確保を希望します。(50代 女性)
- ・ 救急対応の訓練、講習会があったら参加してみたいです。(40代 男性)
- ・ きこえない人が助けを呼ぶ場合もあるかと思います。その時のためにも、簡単な手話単語を覚えてもらえるとありがたいですし、聞こえない方々の不安軽減にもつながるかと思いました。ご検討のほどよろしくお願いいたします。(40代 女性)
- ・ 荒川の土手の決壊でこのあたりは水深 4m になるそうですが、原付きのゴムボートを多数用意しておいてその時は救助して下さい。(60代 男性)
- ・ 歩行喫煙(屋外での喫煙)を徹底的に取り締まって欲しい。(40代 男性)
- ・ コロナ対応への協力、予防接種の実施等。(40代 男性)
- ・ 家族の人数分の災害時の備えや、家具転倒防止対策についての補助や、実物の配給をして欲しい。低所得なので揃えるのは難しい。(40代 女性)
- ・ 地震時の火災がとても怖いとおもいます。災害の対応を迅速にして頂きたいと思います。(70代 男性)
- ・ いつもありがとうございます。昨年、すぐ近くで火災があり、本当にこわいおもいをしました。カーテンをしめてると気がつかず、パチパチと竹の音でカーテンをあけてびっくり。おとなりの方が 119 番してたので自分ではしませんでした。通知があった際、すぐにご近所の場合、わかるような方法があればありがたいです。おとなりの方も 119 番した時には、他から連絡が入っているとの事でした。近所で火があがった事ともっと早くわかればありがたいです。宜しくお願い致します。(50代 女性)
- ・ 住宅用火災報知器を設置して欲しい。(50代 男性)
- ・ 放火などが増えて来る冬季に、町内の消防団だけではなく、日中でも良いので定期的な巡回があると抑止に繋がると感じます。(50代 男性)
- ・ 消防車や救急車を運転される方の運転技術向上を望みます。(50代 男性)
- ・ 病院との連携を密に取ってほしい。(20代 女性)
- ・ 電線や電柱が多すぎ。災害時に電柱が倒れて二次災害(火災、ケガ)の可能性があるので不安



- です。地下に埋めこむリスクとどちらが高いのか住民に知らせて欲しい。(40代 女性)
- ・ 救急車ででのたらい回しを減らすため病院と協力する。(特に夜間対応。)(30代 女性)
  - ・ 保育士として保育園で勤務しています。園に出向いて講習を受ける等大変お世話になってます。自衛消防訓練の届け出が署に何わねばならず大変です。HPで申請する方法等検討していただければ嬉しいです。(30代 男性)
  - ・ 子供に聴覚障害があります。聴覚障害者が通報できるアプリがあると安心出来ます。警察も同じくです。(50代 男性)
  - ・ 救急車は、もっと強気に走っていいと思う。緊急なんだから。(40代 女性)
  - ・ #7119に一度相談したことがあるけれど、電話だと伝わりにくい。スマートフォンなどから画像見られるようにとかしてもらえるといいと思う。(40代 女性)
  - ・ 救急隊の方、電話対応が怖いです。電話口で3回くらいお話したことがあります…大体、威圧的です。必死に一生懸命になのは、わかりますが…動揺します。救急車のサイレンですが…住宅地に入る際、消音にできないのですか？公道で鳴らすのは当然かと思いますが特に夜中は、ご近所迷惑です。そこは、臨機応変になって頂きたいです。(50代 女性)
  - ・ 救急車を呼ぶと消防車が一緒にくるのは、なぜかと思う(50代 女性)
  - ・ 自宅の方での心配事項はあまりないのですが、勤務先(新宿)の会社の防災設備がかなり不安があります。事業者や会社など抜き打ちで検査などを実地してほしいです。(30代 女性)
  - ・ 年数がたった消火器の無料回収。(50代 男性)
  - ・ 世の為、人の為にいつもありがとうございます。私たち一般人も、予防できる事があると思うので、そういう知識を教えて頂ける環境があるといいと思います。(40代 女性)
  - ・ もう少し気軽に相談など、出来たらと思います。(40代 女性)
  - ・ 毎日の様に近所に救急車が来ています。大変ご苦勞様です。感謝です。9/15日午後、10時前後、家の前で救急車が止まり、搬送されるまで1時間以上かかりましたが、その間エンジン止めずにいることに違和感を持ちました。搬送先が見つからずの待機とも思われますが、10〜2、30分ならともかく、1時間以上とは、驚きです。マニュアルで決められているのでしょうか。もう少し、臨機応変に出来ませんか。マニュアルご検討願います。皆様の活動にいつも感謝して居ります。ありがとうございます。(70代 女性)
  - ・ 救急車要請時隊員の方が受け入れ病院を探される作業に受け入れ病院が決まらず、大変な思いをされている話をきく時に何か、その日の当番病院を決め(昼間の)いったんすぐに受け入れ初期対応をして頂きその後受け入れ病院を決める等は不可能な事でしょうか。ちなみに家の場合はすぐ決まり隊員の方に感謝の思いでした。(70代 女性)
  - ・ いつもありがとうございます。緊急車両がよく家の前を通りますが、「道を開けてください！」の呼びかけ時にひどく絶叫する隊員さんがいて、不快に感じます。同じくらいの声量でも耳障りに感じさせない方もいらっしやいます。緊急なのはわかりますが、少し工夫していただけないかなと思います。(50代 女性)
  - ・ 技術の進歩で防災対策ができつつあり、火災は減ってきていると思います。空き時間には、他の業務にも充てられると思いますので、独居老人などの家の防災意識の啓蒙、リスクの回避が火災予防になってくるのではないのでしょうか。災害時は頼りにしておりますので、よろしくおねがいします。(40代 男性)
  - ・ 隣のアパートから屋根の上にタバコを頻りに投げ捨てられ、警察に相談したが対応できないと言われた。消防の方なら、嚴重注意や指導くらいはしてもらえたのでしょうか？お節介なくらいが助かることも多いような気がいたします。(40代 女性)

- ・ 上級救命講習の受講枠が少なく、予約が取りづらい。(60代 女性)
- ・ 小学生などの子供たちにもっと指導し、当たり前に行えるようにしてほしい！(30代 女性)
- ・ 子供が幼稚園に通っていた頃、園の行事で煙や揺れの体験をしたり自分自身がライフガードのアルバイトで上級救命を受講しましたが内容は全く忘れてしまい、今使えないと思います。免許更新時など絶対必須にならない限り、自分から受講するのは難しいと思います。短時間受講でしたらやってみようとなるかもしれません。(40代 女性)
- ・ 防災に関する講習会の講師には高い専門性が求められると思います。研修を行うためのスキルを高めて、参加して、とても深いことを学べたという経験ができるようにして下さい。(60代 男性)
- ・ 主婦でも気軽に参加出来るイベントが、近所であればいいと思います(50代 女性)
- ・ 現在、妻と4歳の長男、1歳の長女の4人家族です。家族で気軽に参加出来るイベント等があれば参加してみたい。また、近くに両親も住んで居ますが、高齢の為、足腰も弱くなり色々心配です。例えば東京消防庁に簡単に繋がる様なテレビ電話やタブレット端末等を一家に一台普及等、もっと身近に感じられたらと思います。(40代 男性)
- ・ やはり、1度や2度、経験している人は、私も含めてたくさんいらっしゃると思います。しかしながら、数年たつと、忘れてしまうため定期的な講習の場が国民にあると、災害時に活用されると思います。(50代 男性)
- ・ 現在コロナ禍で大変な時期日々努力されていると思います。講習などが行えない状況だと思うので、コロナが落ちついたら地域の方とふれあえる講習、訓練をお願いしたいです。いつも地域を守っていただきありがとうございます。(50代 女性)
- ・ 団地に住んでおりますが年に1、2回、団地内で防災と救命講習があれば参加したいと思います。(60代 女性)
- ・ 以前、PTAで講習を受けたとき(in小平市)とてもわかりやすく教えていただき感謝しています。ありがとうございました！これからもPTAや地域などで講習をしていただけたら少しでも助かる人が増えると思うのでよろしく願いいたします。とくにAED、人工呼吸、心臓マッサージ。あと、保健所などでも母親になる人とかに乳幼児の心肺蘇生法を習えたらいいなと思いました。(何kgまでは指2本で押すとか、大人と違うので)(50代 女性)
- ・ 火災警報器の点検に来られた時、消火器の点検をされます。その時毎回使い方を教えてくださいと身に付くと思いますし、教えて欲しいです。(70代 女性)
- ・ それぞれの地域の地理に合った防災イベントの開催をお願いしたいと思います。(50代 女性)
- ・ 消防署、区役所と縦割りの行政ではなく、連携できるシステム作るべき！災害は、おきてからでは遅い、きちんとマニュアルを作り、みんなが行動出来るようにする事が大事！(60代 男性)
- ・ 古い家屋、老人が多い下町の住宅密集地であります。消防車の進入も難しいエリアでもあり、住民関係による初期消火の講習会が大事だと思います。(40代 女性)
- ・ 昨今のコロナウイルスの流行の折消防隊、救急隊の方々には大変ご苦労をおかけしています。中々搬送先が見つからないとのこと報道にて知っています。大変だと思いますがなるべく速やかに搬送先を確保できるように各所轄官庁等(保健所、一時待機施設)と事前に空き情報等を確認をお願い致します。人の命は大変大事ですから、宜しく願い致します。(70代 男性)
- ・ 高齢者が多い自治体などに定期的な避難訓練等の災害訓練の実施！(70代 男性)

- ・ コロナ禍がもう少し落ちついたら、一般市民への消防とのかかわりの場を増やしてほしい。子供ができてから災害時や、子供になにかあった時の対応の仕方などが知りたい。申し込みをしないといけないイベントだと、面どうだったり参加しにくい為、年に2回ほど大きな市の会場（公園）などで行ってほしい。(30代 女性)
- ・ 学校の授業に応急手当をぜひ、行ってほしい。何よりも、大切な事。身近な人を救えるし勇敢な気持ちになれると思う！！(40代 女性)
- ・ 応急手当（AED）の講習を受ける機会がないため、区民、都民に対し、実地の講習を度々ひらいて頂けると幸いです。（すでに開催されていて私が知らない場合は失礼致しました。自分でも調べてみたいと思います）(40代 女性)
- ・ また消防署でのイベントをやってほしいです。今でも貰ったバッグに消防車のキーホルダーライトをつけてます。(30代 男性)

#### ■調査内容、方法に関する意見

- ・ 貴重な調査に参加できありがたかったです。(30代 女性)
- ・ このような活動（世論調査）をしていることを初めて知りました。私の弟は小さい頃から消防士さんが大好きでよく地域で開かれる防火防災訓練に参加していて、いつも私たちの安全を守ってくれる皆さんをカッコよく思っていました。これからもお体に気をつけて頑張ってください。(10代 女性)
- ・ 催促のハガキは失礼だし、腹立たしい。はじめから信用していないのですね。これで、終わりにしてください。何も送ってこないでください。(60代 男性)
- ・ 6年くらい前、子供が車とぶつかってケガをし、救急車を呼びましたが救急隊員の方が軽傷であったせいか、何度も乗るのか乗らないのかを聞かれ、心配で呼んだのに嫌々な態度で対応されました。重傷でないと呼んではいけないのかと思いました。そういう方ばかりではないと思いますが利用後のアンケートが欲しいと思いました。(40代 女性)
- ・ こういうアンケートは必要だと思う。(50代 男性)
- ・ アンケートにパソコンから回答しようと思ったが、URLが手打ちするには長すぎるので短縮URLなどを使用して欲しい。問い合わせ先にメールが無いので追加して欲しい。消防、救急のアプリは日常的に使うものではないが、いざというときに役に立つ、使いやすい、そういったコンセプトで運営するのがいいのでは無いかと思う。アプリをダウンロードしたことはないですが、チラシを見て不要な機能が多そうだなと思いました。ユーザのリテンションをあげたいなら、アプリでやるのではなく、アプリの外、ユーザがいる場所でやる方が良いと思います(40代 男性)
- ・ この世論調査票の内容を大切なデータとして役立ててほしい。消防で働く人達の心と体の健康が大事です。人を育てることこそがこの国の消防を守り地域の安全を守ると信じます。(60代 女性)

## ■その他

- ・ コロナ以前、夜に子供の体調不良で#7119に1時間何度かけてもつながらず、大きな病院へ直接電話をしました。夜間に病院へ行くのは迷惑かもしれないと迷い、まず#7119にかけることがマナーだと思ったからです。これでは119にかける方も多くなると思いました。救急車は本当に必要とされている方のために使われているのでしょうか？メディアで正しい利用を取り上げてください。自家用車があり病人は歩けるのに救急車を要請し後ろから自家用車でついていくなどもあると聞きました。適切な判断をお願いいたします。(40代 女性)
- ・ 住宅駐車場で、バーベキューやたき火をしている人がいます。どうなのでしょう？個人が禁止とわかるには？(40代 女性)
- ・ 何年前かに#7119に電話したのですが結局119に電話するか、教えられた病院に行くか？の選択で、タクシーで教えられた病院へ行きましたが、病気の名前がわからなくて、最後に2時間後にやっとインフルエンザとわかり、熱がなかったためわかりにくかったみたいです。その間死ぬかと思いました。それで、思ったのは、結局救急車で行ってもそれを診るお医者さん技量だと思いました。別にすごい名医に診てもらおうのではなくても普通の病気が普通に分かる医者がある所を教えてください。後、個人病院の先生、特にかかりつけ医に診てもらう様な法律が出来たらいいなと思いました。(30代 女性)
- ・ 2ヶ月前に職場でAED講習会がありました。数日後、出先で人が倒れていたの、とっさに教えて頂いたことを1つ1つ思い出しながら対応することができました。AEDを使用することはなかったのですがあの講習会がなければとれない行動でした。少しの知識で大切な命を救えることがわかって、講習会の大切さも学びました。(50代 女性)
- ・ 火は普通に使っていれば危険なことはありません。しかしガスをつけたままその場を離れたり、油鍋を火にかけておいて外へ出たりして大火事を招いている例がおびただしくあります。少なくとも消防団の方達には火の使い方を徹底して教えてあげることが燃えてから消すよりずっといいのです。私自身は何10年生きてきた年よりですがただの一度も火の不始末はなく従ってボヤも出しておりません。(70代 女性)
- ・ 自宅近隣住宅で火災発生時消防自動車が入れず(道が狭い為)現場到着が遅れた。(近くから走れば良かったのでは)中に生存者が居たので、隊員だけでも現場にかけ付けて欲しかった。結局近隣住民が危険を冒し救助した。消火活動より人命救助が先ではないのか？と感じた。(60代 男性)
- ・ 警報器のことなどは、親に任せっきりで全く把握出来ていない。(50代 女性)
- ・ 私の住まいの近くに消防署(分団)があります。通りがけにポスター(掲示板)を見て、参考にして生活にとり入れてます。(70代 女性)
- ・ また機会があればいろんな行事に参加してみたいです。(30代 女性)
- ・ 消火器は、特に苦勞せずに購入出来るのですが使用せずに期限切れの物がいくつかあります。処分方法がわからない為に、どうして良いものか…という状態です。(60代 女性)
- ・ 夫がセルフガソリンスタンドで危険物保安監督者をしていますので消防業務については関心があります。ご苦勞様です。(60代 女性)